



I 第30週の発生動向 (2026/7/20~2026/7/26)

- 手足口病について、中南保健所管内及び上北保健所管内の定点当たり報告数が新たに**警報レベル**となり、東津軽+青森市保健所管内及び三戸+八戸市保健所管内で**警報**が継続しています。すべての保健所管内で定点当たりの報告数が増加傾向にあるため、特に乳幼児が集団生活をしている施設等では、流水・石けんによる手洗いを徹底し、タオルの共用を避け、排泄物等を適切に処理するなど感染予防に努めましょう。
- インフルエンザについて、西北保健所管内の定点当たり報告数が新たに**注意報レベル**となりました。日頃から手洗いや咳エチケット等の基本的な感染対策をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「レジオネラ症」です。

最終ページに掲載しています。

II 第30週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

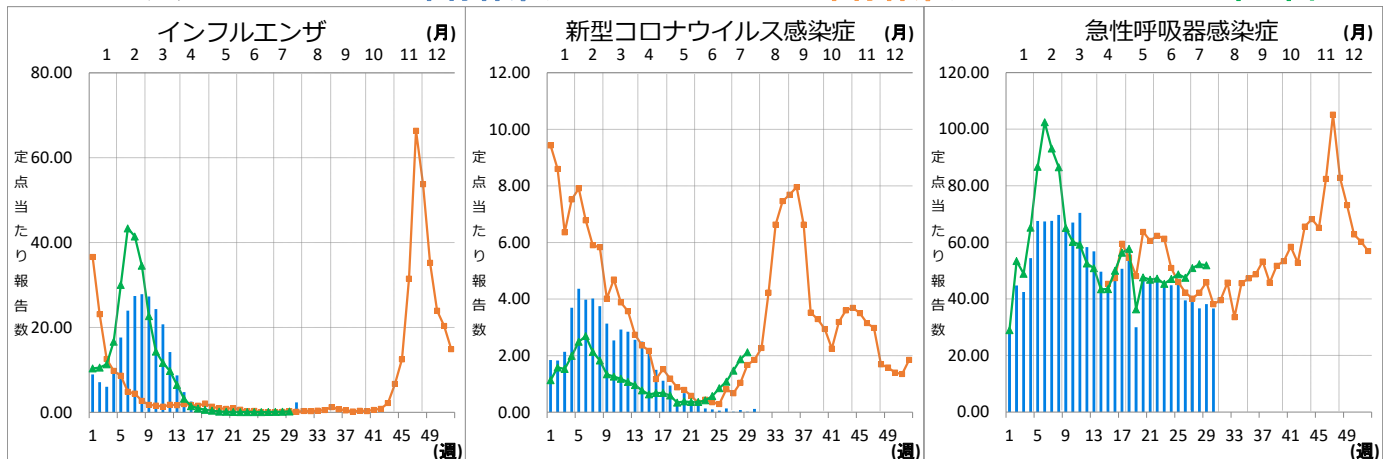
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」：患者報告無し。

		東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	12	1.09	39	3.90	2	0.20	64	10.67	1	0.11	4	0.67	122	2.35	79
	新型コロナウイルス感染症	1	0.09	1	0.10	2	0.20			2	0.22			6	0.12	5
	急性呼吸器感染症	538	48.91	276	27.60	265	26.50	190	31.67	302	33.56	333	55.50	1904	36.62	-79
小児科	RSウイルス感染症			1	0.17	1	0.14							2	0.06	2
	咽頭結膜熱	1	0.17	1	0.17					1	0.17	2	0.50	5	0.15	-2
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.33	2	0.33	7	1.00	3	0.60	6	1.00	2	0.50	22	0.65	-3
	感染性胃腸炎	4	0.67	4	0.67	14	2.00	8	1.60	1	0.17			31	0.91	-14
	水痘			5	0.83	3	0.43							8	0.24	2
	手足口病	54	9.00	52	8.67	68	9.71	24	4.80	41	6.83	7	1.75	246	7.24	97
	伝染性紅斑															-1
	突発性発しん	2	0.33	1	0.17	2	0.29	1	0.20					6	0.18	4
	ヘルパンギーナ	11	1.83	7	1.17			13	2.60	6	1.00	2	0.50	39	1.15	-16
	流行性耳下腺炎															-3
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															0
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											2	2.00	2	0.33	1
	無菌性髄膜炎															0

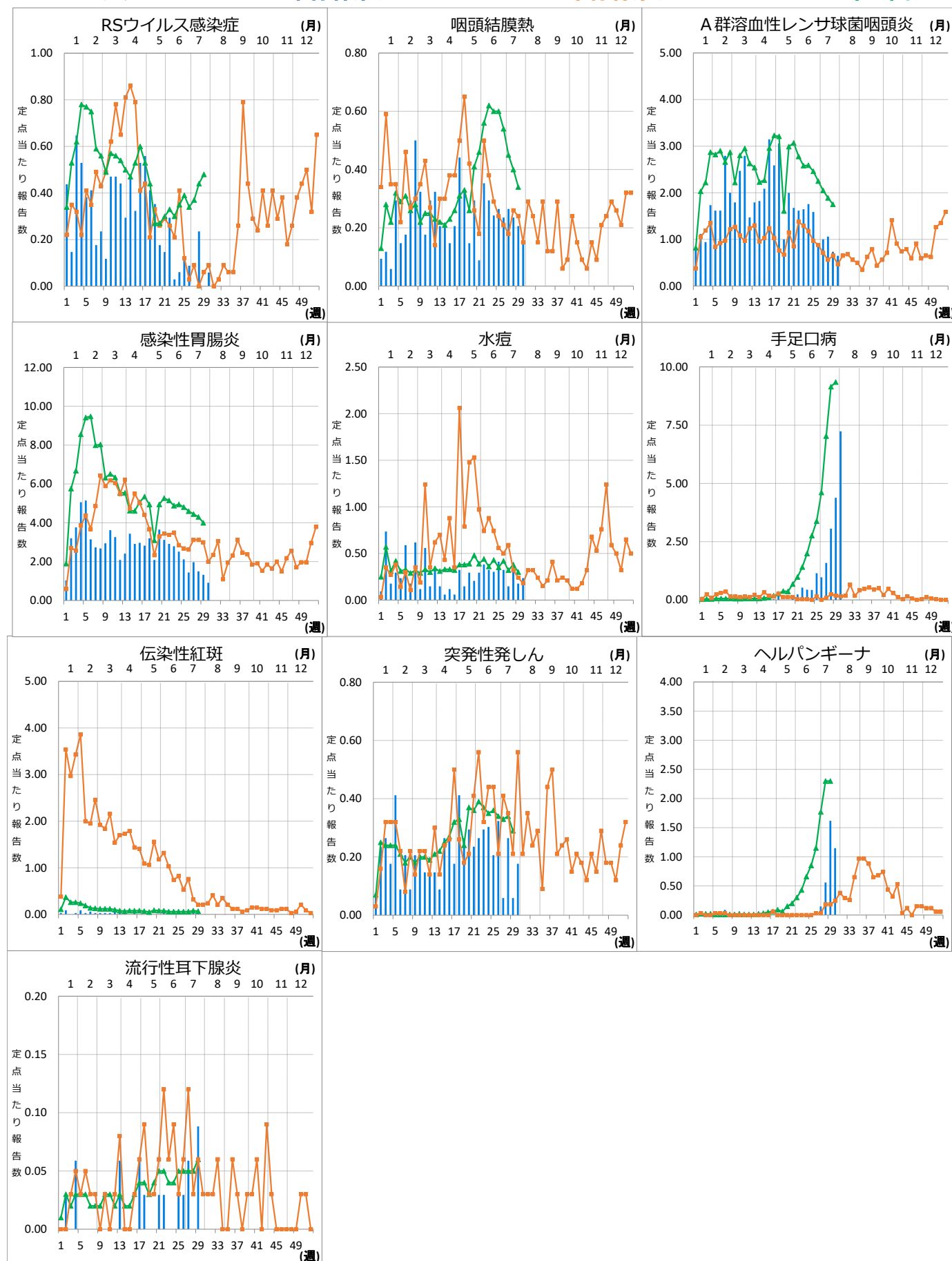
III 定点把握対象疾患週別推移(急性呼吸器感染症定点)(2026年第30週、ただし全国は前週)

グラフの説明 〓は2026年青森県、■は2025年青森県、▲は2026年全国

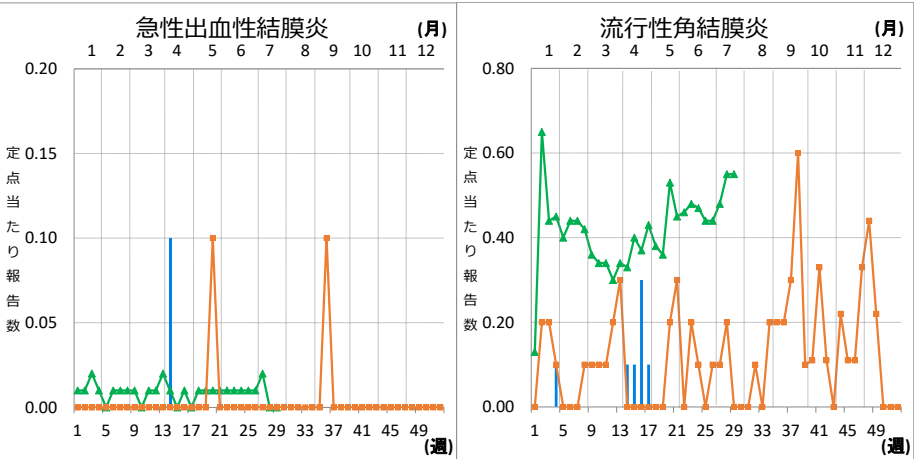


Ⅳ 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2026 年第 30 週、ただし全国は前週）

グラフの説明  は 2026 年青森県、 は 2025 年青森県、 は 2026 年全国



V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2026 年第 30 週、ただし全国は前週）
 グラフの説明👉——は 2026 年青森県、■——■は 2025 年青森県、▲——▲は 2026 年全国



Ⅶ 急性呼吸器感染症(ARI)病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2026 年第 23 週～30 週)

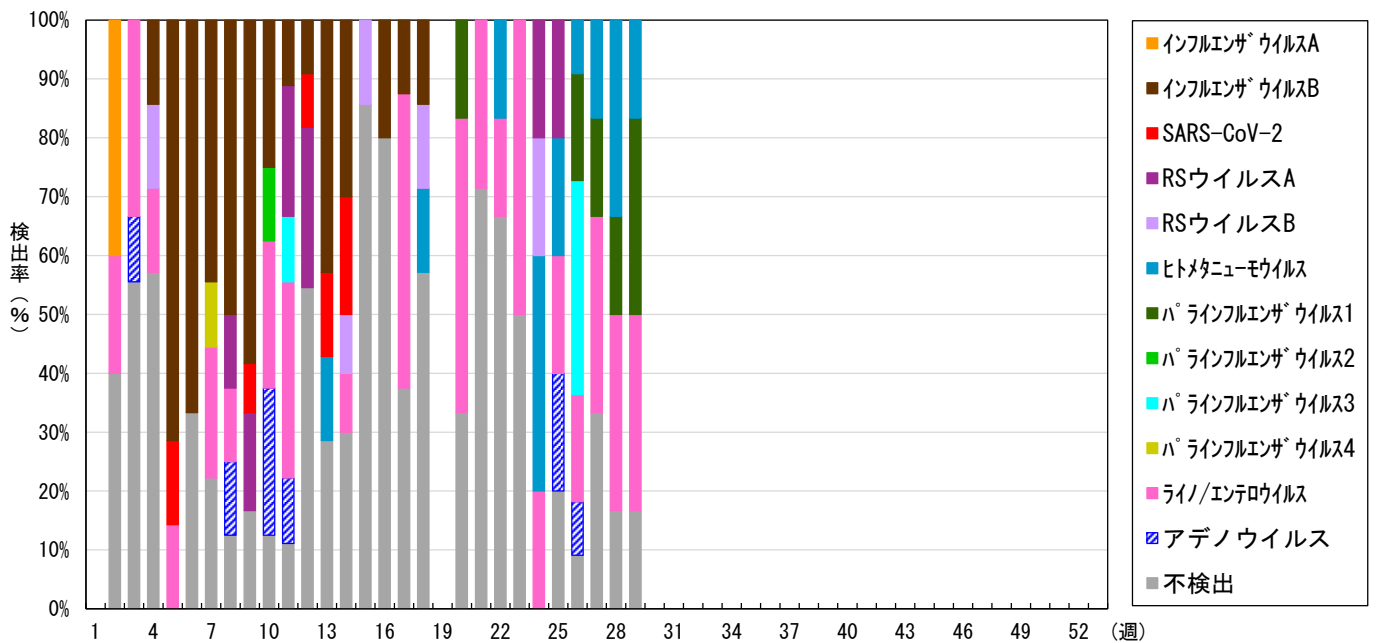
急性呼吸器感染症	2026年							
	23週	24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週
提出検体数	8	5	5	8	6	5	5	6
インフルエンザウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	
SARS-CoV-2	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルスA	0	1	1	0	0	0	0	
RSウイルスB	0	1	0	0	0	0	0	
ヒトメタニューモウイルス	0	2	1	1	1	2	1	
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	2	1	1	2	
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス3	0	0	0	4	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0	0	0	0	0	
ライノ/エンテロウイルス	4	1	1	2	2	2	2	
アデノウイルス	0	0	1	1	0	0	0	
不検出	4	0	1	1	2	1	1	
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	6

※第26週に提出された検体のうち、パラインフルエンザウイルス3及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが2検体、パラインフルエンザウイルス3及びヒトメタニューモウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第28週に提出された検体のうち、ヒトメタニューモウイルス及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第29週に提出された検体のうち、ヒトメタニューモウイルス及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2026 年第 1 週～29 週)



Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（第 30 週）

- ・結核（二類感染症）：青森市 1 人 (2026 年計： 59 人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）：青森市 1 人、上北 1 人 (2026 年計： 17 人)
- ・レジオネラ症（四類感染症）：中南 1 人 (2026 年計： 2 人)
- ・百日咳（五類感染症）：中南 1 人、三戸 2 人 (2026 年計： 26 人)

Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2026 年第 27 週～2026 年第 30 週）

週	東青 （東津軽保健所+ 青森市保健所）	中南 （中南保健所）	三八 （三戸保健所+ 八戸市保健所）	西北 （西北保健所）	上北 （上北保健所）	下北 （下北保健所）
27	つつが虫病1人 カルバペネム耐性腸 内細菌目細菌感染症 1人	結核1人 劇症型溶血性レンサ 球菌感染症1人 梅毒1人 百日咳1人	結核2人	結核2人	腸管出血性大腸菌感 染症1人	結核1人
28		結核1人 百日咳2人	結核1人 水痘(入院例)1人	結核1人	つつが虫病1人	
29	結核2人 梅毒1人	結核1人 腸管出血性大腸菌感 染症1人	結核1人			
30	結核1人 腸管出血性大腸菌感 染症1人	レジオネラ症1人 百日咳1人	百日咳2人		腸管出血性大腸菌感 染症1人	

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2026年第1週～第29週までの累計）										
分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムポックス	オウム病
累積報告数	8015	42	1689	21	11	390	166	8	83	4
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	マラリア
累積報告数	3	5	110	1	2	61	46	234	2	24
分類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症
累積報告数	1	1	1307	4	277	119	551	13	270	5
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	多剤耐性緑膿菌感染症	梅毒
累積報告数	85	747	534	24	329	36	1713	494	107	6378
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類			
疾病名	播種性クリプトкокクス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症			
累積報告数	97	53	47	3764	3	548	10			

青森県（2026年第1週～第30週までの累計）

分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	59	2	17	3	3	2	1	5	2	8
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類				
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	百日咳				
累積報告数	1	5	12	7	12	26				

XI 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅺ 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2026年第30週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第30週	報告なし		

2026年報告件数及び発症者数

月(週)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月					8月	9月	10月	11月	12月	計
施設種別		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27週	28週	29週	30週	31週	32-35週	36-39週	40-44週	45-48週	49-52週	(施設別)
介護・老人福祉関係施設	件数	2	2	6	2	3	0	0	0	0	0							15
	発症者数	37	44	69	23	42	0	0	0	0	0							215
児童・婦人関係施設等	件数	4	0	1	3	4	1	0	0	0	0							13
	発症者数	92	0	30	73	63	10	0	0	0	0							268
障がい関係施設	件数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0							2
	発症者数	20	0	18	0	0	0	0	0	0	0							38
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0
計(月別)	件数	7	2	8	5	7	1	0										30
	発症者数	149	44	117	96	105	10	0										521

感染症の窓

レジオネラ症は、レジオネラ属菌による感染症です。報告数の90%以上を50代以上が占めますが、乳児の集団感染が報告されたこともあり、年齢にかかわらず注意が必要です。

主な病型としては、重症の「レジオネラ肺炎」と一過性の「ポンティアック熱」が知られています。レジオネラ肺炎は、全身倦怠感、頭痛、咳、38℃以上の発熱、胸痛、呼吸困難、下痢などの症状を呈し、昏睡や幻覚などの中枢神経症状を伴うこともあります。軽症例もあるものの、適切な治療がなされなかった場合には急速に症状が進行することがあり、命にかかわることもあります。一方、ポンティアック熱では、発熱、悪寒、筋肉痛などの症状がみられますが、自然に治癒します。

主に、病原体に汚染されたエアロゾル（細かい霧やしぶき）の吸入によって感染し、ヒトからヒトへ感染することはありません。

代表的なエアロゾル感染源としては、冷却塔水、加湿器や循環式浴槽（追い炊き機能付き風呂、24時間風呂など）などが報告されています。

加湿器を使用するときは、毎日水を替えて容器を洗浄しましょう。循環式浴槽は、浴槽内に汚れやバイオフィーム（細菌で形成される「ぬめり」）が発生しないよう定期的に洗浄を行いましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。
📄 [レジオネラ症（厚生労働省 HP）](#)

